

コーヒーを飲みながら、医師や科学者と からだやところを語るサイエンスカフェ

「サイエンスカフェ」は発見塾の活動の柱のひとつです。サイエンスカフェとは、講演会などとは違って、カフェでコーヒーを楽しみながら第一線で活躍している科学者の話を聞き、気軽に語り合う新しいコミュニケーションの場。10年ほど前からイギリス、フランスで始まったものです。

開催に当たりお世話になったのが、文部科学省のサイエンスカフェの責任者の中村征樹さん、友人の綾部広則さん。おふたりにご指導、ご声援を頂きながら場所探しをした結果、銀座四丁目のカフェ「凜」を見つけることができました。

第1回のサイエンスカフェは、2007年12月6日(木)に開催。スピーカーは心臓外科医の堀見副理事長。テーマは「心臓外科医と心臓を語ろう」です。

当日は18名の参加があり大盛況でした。血圧計を使った心臓外科医のライブでの解剖学の貴重なお話が聞けたことに、参加者は親近感を持たれ、感動していたようです。ただ声が聞き取りにくい場所があったという意見もありましたが、次回につながる良い機会となりました。

第2回目は2008年3月4日(火)場所は前回同様「凜」にて、国立がんセンター中央病院内科医の後藤 悌先生にスピーカーをお願いしました。テーマは「からだに入った空気はどうなるの？」

肺や気管の役割」という身近な内容。例えば免疫細胞のマクロファージは、肺に入ったじゃまものを外に出す働きがあります。その時出る黄色いたんは白血球であり、白いたんは分泌物なのだそうです。質問等も沢山あり参加した皆様はかなり充実感があつたようです。このような新しいコミュニケーションの場を提供していく事が「自らの心身に対する好奇心を刺激し、医療に主体的にかかわる意識を滋養する」



▲第1回のスピーカーは心臓外科医である堀見副理事長。心臓のしくみや血圧などについて参加者から質問が相次ぐ

という目的のための私達の使命のひとつだと考えています。

(文責 事務局・小俣みえ子)

会員紹介

みなさん、こんにちは。鈴木信行と申します。私は、二分脊椎症という先天性疾患を持った身体障害者であり、さらに精巣腫瘍を闘病した経験を活かし、学生や子どもたちに「いのちの大切さ」を伝える活動をしています。

いまの医療技術の進歩は、胎内にいる赤ちゃんの二分脊椎を発見し、それは中絶という選択肢を妊婦やその家族に与えるという現実があります。いのちを救うはずの技術が、いのちを選択することに使われているのです。

私の講演活動、そして発見塾の幅広い活動が、本来もっとも尊重されるべき「いのち」価値を多くの方に伝えることを私は強く期待しています。

私は、4月にカフェを開業させました。このカフェでは、お客さんたちをつなぐ大きな役割を持った空間にしたいと努力しています。ひとがひととして価値ある人生を歩むには、多くのひとと接し、人間性を高める必要があります。そして、胎児の疾患など、予期せぬ

鈴木 信行さん



すずきのぶゆき。
1969年生まれ。東京都足立区在住。日本二分脊椎症協会前会長。製薬企業研究所勤務を経て、2008年4月より、東京都文京区にてカフェを開業。コーヒーマイスター。Webは「nobu cafe」で検索を。

情報に突然接したとしても、的確な判断を下せるようになると、私は信じています。

カフェの近くにお越しの際には、気軽にお立ち寄りいただき、そして発見塾の名前をスタッフへお告げくださいませ。きっと楽しい空間と有意義な時間が広がることでしょう。

●2007年の活動報告

- 8月1日 柏市立教育研究所講演
- 8月25日 めいぐるみ病院講演
- 9月13日・20日・27日 神田女学園講演
- 9月20日・22日 文京区立第六中学校講演
- 10月18日 岐阜県立八百津高等学校講演
- 11月14日 江南市西部中学校講演
- 11月21日 東京成徳大学中学校講演
- 11月23日 第1回プレゼン大会
- 11月25日 医療の質・安全学会第2回学術集会・国際シンポジウム「みんなで創ろう、私たちの医療—患者・医療者・地域社会の取組み」展示
- 12月4日 広島県府中市立上下中学校講演
- 12月6日 第1回サイエンスカフェ
- 12月11日 四街道中学校講演

●2008年の活動報告

- 1月25日 四街道中学校講演
- 2月15日 NPO・ボランティア団体交流サロン見本市出展
- 2月17日 第2回プレゼン大会
- 3月4日 第2回サイエンスカフェ
- 3月14日 埼玉県立八潮高等学校講演
- 6月14日 おとなのからだ塾
- 7月16日 群馬県太田市立毛里田中学校講演
- 7月25日 NPO交流会出展
- 9月11日・18日・25日 神田女学園高等学校講演
- 9月13日 新宿区立新宿中学校講演



スタッフ紹介



事務局
久保園由美子

NPOの事務局、私に何ができるんだろう…私でもできることがあるに違いない！の思いで携わって1年がたちます。色々な方との新鮮な出会いに感謝です。

子供や続く世代が幸せに暮らせるよう我々にできることを模索し、小さいことでもいいので実践していきたいと思っています。そしてその輪が大きくなっていくことを願っています。

非力な事務局ですが、これからも応援よろしくお願ひします！